

令和2年度
事業計画

社会福祉法人 緑会

緑会理念

- 仁愛 家族に身になって病める人の心を大切にする
- 信頼 信頼されるに足る知識と技術を持つよう努力する
- 貢献 医療・保健・福祉を通じて地域社会に貢献する

令和2年度テーマ

『誰もが安心して暮らせるフレイルの予防』の見える化

基本方針

少子高齢が進む中、地域包括ケアと地域共生社会を目指し、地域で安心して暮らせる為に、サービスを提供するだけでなく、地域との連携を図り、信頼され、求められる存在となるよう、組織や個人として努力する。

重点目標

- 1 フレイル（身体的・精神的・社会的衰弱）を予防する
 - ・筋力チェックとリハビリ（握力・歩行速度）
 - ・低栄養の改善と口腔、嚥下機能のリハビリ
- 2 認知症・障がいを持つ方への対応
 - ・認知症や障がいの理解
 - ・個々の状態に寄り添うサービス提供
- 3 接遇の見直し
 - ・より良い人間関係の構築（ご利用者・ご家族・職員）
 - ・地域に選ばれる介護サービス・施設の提供

実施施策

1 フレイル（身体的・精神的・社会的衰弱）を予防する

高齢者の中には、閉じこもりなどによる社会的孤立、転倒や低栄養、嚥下状態の悪化などによる身体的機能の低下、意欲や認知機能が精神的に低下するなど、フレイルに気付かず、要介護状態になる事が考えられる。そうならないためには、状態を把握し、早期発見、早期予防することが必要となる。当法人としてあらゆる機会をとおし、計測（握力・5m歩行・立ち上がり動作など）したものや今までのデータや身体状態に応じた機能訓練を参考にして見える化し、専門職と連携しながら、身体的・精神的機能維持や社会参加につなげられるよう、フレイル予防に取り組む。

2 認知症・障がいを持つ方への対応

介護サービスを利用する要介護者の主な要因の多くは、認知症であり、今後さらに増える事が予測されている。また、障がいのある方の高齢化も進み、65歳以上に対しては介護保険サービスの利用が優先されることから、高齢・障がいを含めたサービスが求められる。以上のことから、認知症だけでなく障がいに対する理解を深めて、どのようなサービスを提供していけばいいのかなど質の確保・向上を図る。

3 接遇の見直し

接遇は、介護サービスを提供する者として、ご利用者に安心感を与え、信頼を得るために最も基本的で重要なツールである。挨拶や言葉遣い、身だしなみはもちろん、相手の状況や気持ちを理解して寄り添う姿勢が重要となる。介護サービスを提供するプロとして、ご利用者、ご家族はもちろん、自分たち職員間においても、接遇を常に意識し、身につけていくよう、取り組む。

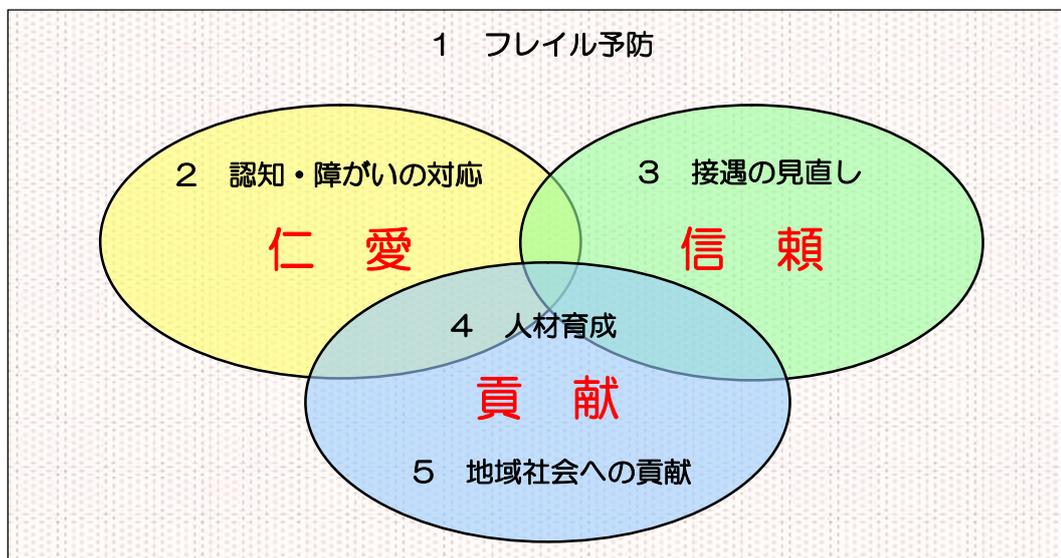
4 人材育成

ご利用者の尊厳を大切にし、心豊かにサービスを利用していただけるよう、今まで以上に職員間の連携を密にし、一体的に支援ができるよう、外国人技能実習生も含め、一人一人が職責に応じた役割を担い、サービスを提供できるよう努力する。

5 地域社会における貢献

当法人の理念に基づく「貢献」活動は、地域社会に対する安全・安心な生活を過ごす上で大切な役割を担っている。また、社会福祉法の改正に伴い、社会福祉法人が地域社会における貢献活動が義務付けられた事から、法人自らが率先して、地域住民の相互のつながりや災害時の福祉支援の含めた、地域福祉の向上のためのサービスを提供していくことが求められている。それに応えるために、介護や医療などの専門技術の提供や積極的にボランティアの受入れや育成する事などで、地域の支援を行っていく。

事業実施図（令和2年度）



1. 各種会議・委員会一覧

【 えんやまグループ 】

名 称	開催日時	内 容
法人会議	毎週水曜日 8:00～8:40	グループ内で経営や運営上検討すべき課題の検討や制度改正、雇用状況等の共通理解を深める
グループ運営会議	毎月最終火曜日 13:30～15:00	理事長以下グループ内各部署長・課長級の職員が参加し、事業運営や課題について検討する。
施設連携会議	毎月第4木曜日 16:00～17:00	病院・老健・特養・G.H等ベッドを有するグループ内施設の担当者による情報共有と処遇の検討

【 緑 会 】

名 称	開催日時	内 容
緑会運営会議	毎月最終月曜日 12:40～13:45	法人全体の経営・運営に関すること
衛生委員会	毎月最終月曜日 12:30～12:40	職員の衛生・安全・健康の確保・職場環境に関すること
千寿苑業務会議	毎週月曜日 12:30～13:00	施設全般の運営・管理等に関すること施設全般における業務全般・苦情に関すること
入居検討委員会	毎月最終金曜日 14:00～15:00	施設入所決定等に関すること
安全・感染対策委員会	毎月第2火曜日 12:30～13:00	リスクマネジメントの手法を用い、事故（転倒・誤嚥・誤薬・異食・その他の事故）の防止対策と事故が発生した場合、その分析や対応、再発防止のための対策を検討、実施することや、感染症及び食中毒の予防並びに蔓延の防止対策や環境衛生等の改善についての検討、実施
合同栄養委員会	毎月第2金曜日 12:30～13:00	施設・事業所で提供する食全般に関すること
地域貢献活動委員会	毎月第3火曜日 12:30～13:00	各施設単位、法人単位、そしてえんやまグループ全体の地域活動を担当し、企画の立案や提案、地域からの依頼等の調整
防災委員会	毎月第3水曜日 12:30～13:00	建物全体の防災計画、月例点検、避難誘導訓練の計画策定と実施、自然災害を含む災害時の対応に関する計画策定と訓練の実施
褥瘡対策委員会	毎月第3木曜日 12:30～13:00	施設全般における褥瘡予防・治療内容、再発防止対応に関すること
身体拘束廃止委員会	毎月第3金曜日 12:30～13:00	施設内における身体拘束の廃止及び虐待防止のための取り組みの検討、実施に関すること

2. 研修一覧

① 施設内研修等予定

【法人全体】

研修名	担当委員会	開催時期
身体拘束廃止に関する研修	身体拘束廃止委員会	年2回 (時期未定)
感染症に関する研修	安全・感染対策委員会	11月
食事に関する研修	合同栄養委員会	2月
施設の防災・設備等に関する研修	防災委員会	10月
褥瘡の発生メカニズム・予防に関する研修	褥瘡対策委員会	9月
職員の健康維持・向上に向けた研修会	衛生委員会	毎月1回

【千寿苑 介護・看護】

研修名	講師	開催時期
認知症の方への対応の仕方など（認知症サポーター養成）	介護職員	4月
高齢化による身体的精神的変化（フレイル・サルコペニアなど）	機能訓練指導員	5月
食中毒・低栄養及び療養食など	看護職員	6月
施設職員としての接遇マナー	介護職員	8月
嚥下及び口腔ケア	看護職員	9月
看取りケア	看護職員	10月
緊急時の対応と心肺蘇生	看護職員	11月
職員の倫理とプライバシー等・危険予知	施設長	12月
身体拘束	介護職員	1月

【せんじゅ・なでしこ】

研修名	講師	開催時期
職業倫理とプライバシー保護について	施設長	5月
災害に備えて	防災委員	12月
身体拘束廃止について	身体拘束廃止委員	11月
感染症予防研修	安全・感染対策委員	10月
接遇・マナー	研修修了者	6月
認知症について	研修修了者	7月

【やくしの里】

研修名	講師	開催時期
接遇・マナー	管理者	4月中
介護記録の書き方	管理者	8月中
認知症について	管理者	12月中
身体拘束について	管理者	3カ月に1回

※ 上記のほか、研修報告会や必要となった内容の研修を実施

※ 資格取得に向けての勉強会・その他研修会を実施

② 施設外研修等参加予定

※ 下記以外にも、各種団体・企業等の主催する研修会へ参加予定

【管理・事務・庶務】

研修名	主催者	会場	参加者
社会福祉法人会計実務講座	中央福祉学院	ロフォス湘南	大沢 友恵
県経営協経営戦略セミナー (前期・後期)	県経営協	金沢市内	北山 達朗
県老協施設長・事務長研修	県老協	金沢市内	北山 達朗
七尾市総合福祉施設協議会研修会	七尾市総合福祉施設協議会	七尾市内	未定

【千寿苑看護職員・機能訓練指導員】

研修名	主催者	会場	参加者
急変に対する心得	県看護協会	金沢	小林 美香
高齢の「食べる」を考える	県看護協会	金沢	高野 幸恵
介護支援専門員更新研修	石川県	七尾市内	北野 和子

【千寿苑入所介護職員】

研修名	主催者	会場	参加者
高齢者虐待防止研修	長寿社会課	七尾市内	身体拘束委員
身体拘束廃止推進員養成研修	〃	七尾市内	身体拘束委員
看取り	介護労働安定センター	金沢市内	三浦 菜保子
接遇マナー	〃	金沢市内	池田 芳枝
東海北陸ブロック 老人福祉施設研究大会	老協	三重県 四日市市	川口 臯月 下川 莉奈
口腔ケア従事者育成研修	県歯科医師会	七尾市内	北野 紀子
リスクマネジメント研修	福祉総合研修センター	金沢市内	安全感染委員
感染予防	県保健センター	能登中部地域	安全感染委員
介護支援専門員更新研修	石川県	七尾市内	寺 貴志香

【せんじゅ・なでしこ職員】

研修名	主催者	会場	参加者
高齢者施設初任者研修	福祉総合研修センター	福祉総合研修センター	中江田 和之 木村 理恵 中倉 晴美
認知症介護実践・実践者研修	石川県社会福祉協議会	県社会福祉会館	政島 愛子 永松 香織
認知症介護実践リーダー研修	石川県社会福祉協議会	県社会福祉会館	大橋 しのぶ
福祉サービスに関する苦情解決事業研修会	石川県社会福祉協議会	県社会福祉会館別館	宮本 学
即効リーダーシップセミナーまたは高齢者施設リーダー研修	石川県社会福祉協議会	県社会福祉会館	大嶽 こずえ
対人援助技術講座	石川県社会福祉協議会	県社会福祉会館	高宮 由美子
新人職員の人材育成について	介護労働安定センター	地場産センター	戸潤 春奈
離職者ゼロをめざして 腰痛予防・福祉用具の活用	介護労働安定センター	県リハビリテーションセンター	素波 久美
腰痛予防対策講習会	厚生労働省委託事業	地場産センター	塚林 恭美 岩崎 みよ子
リスクマネジメント実践研修	石川県社会福祉協議会	福祉総合研修センター	百谷 寛子
ストレスマネジメント研修	石川県社会福祉協議会	県社会福祉会館	高山 和美 戸潤 春奈
福祉の仲間づくり研修	石川県社会福祉協議会	福祉総合研修センター	山本 美和
発達障害の理解と支援	石川県看護協会	地場産センター	嶽 奈美子 原田 吉江 藪越 直美
石川県デイサービスセンター協議会職員研修会（第1回）	石川県社会福祉協議会	地場産センター	坂井 章子
福祉サービス総合研修	石川県社会福祉協議会	福祉総合研修センター	百谷 寛子
介護職 47 のための接遇・マナー	石川県社会福祉協議会	福祉総合研修センター	宮本 学 蔵本 輝夫

【やくしの里職員】

研修名	主催者	会場	参加者
高齢者介護実務者研修		七尾産業福祉センター	竹本 夏代
感染予防	県保健センター	能登中部地域	未定
介護支援専門員更新研修	石川県	七尾市内	中道 信夫

3 地域貢献活動

① 認知症サロンの支援

各月1回、徳田地区で開催される「とくだカフェ」、北大呑地区の住民を対象に実施される「北大呑カフェ」、高階地区の住民を対象に開催される「カフェたかしな」への会場提供、送迎支援、職員派遣、運営支援等を行う。

② 社福バスの運行

社会福祉法人能登福祉会と共同で、湯川町・岡町・殿町・沢野町に居住され、事前に登録いただいた方からの要請に応じて北鉄バス岡町バス停から自宅までの送迎を毎週火曜日に運行する。

③ 雪かき隊の派遣

千野町、八幡町、国下町の町会長、民生委員に協力を仰ぎ、当該町に居住される高齢単身者世帯若しくは高齢者夫婦世帯のうち、希望される世帯に対し一定量以上の降雪時に生活動線の確保のための除雪を実施する。

④ 地域で開催されている「サロン」への運営支援

- ・ 国分町で開催される「サロン」への職員派遣、運営援助

⑤ 美化活動

- ・ 八幡町一本松公園周辺の除草・清掃
- ・ 朝日小学校通学路のごみ拾い

⑥ 講師派遣

町内会、老人会、女性部等地域の各種団体等からの依頼に応じて専門的な知識を持つ職員を講師として派遣する。

その他、介護職員養成に関わる機関からの要請に応じて講師の派遣を行う

⑦ その他

- ・ 使用済み切手、ベルマークを収集し、地元の保育施設や市・県社会福祉協議会等へ寄贈する。

介護老人福祉施設 千寿苑

指定介護老人福祉施設

指定短期入所生活介護

指定介護予防短期入所生活介護

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
<p>(利用者)</p> <p>○一人ひとりの状態に合わせた内容で体を動かす機会をもち、筋力を維持できる</p>	<p>○毎日の生活の中で、利用者ひとり一人が今できている事に、着目・確認して個々に応じた内容を実施していく</p>	<p>※ 関わりの中で、興味を持っていただける様に説明し、継続していただけるように関わる</p> <p>○昼食前の嚥下体操の促し 個々に応じて声をかけたり、目で見てわかるようにサポートする</p> <p>○レクリエーション開催時、参加者に下記の体操を毎回実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グーパー体操 10回 ・声を出す（パンダのたからもの、あっかんべー（舌を出す））5回 ・足ふみ 10回 <p>○対象者を決めて起立練習 5回</p> <p>○評価について</p> <p>※ 嚥下機能をシートで評価 （4月） → 体操が可能な方をリストアップして実施→8月と3月評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起立対象者の立位保持（最高30秒まで） ・その他ADLが向上した方がいるのかを評価 	
<p>(職員)</p> <p>○継続して運動する時間をもち、筋力を増やせる</p>	<p>○皆で運動する時間を設けて実施する</p>	<p>○腰痛予防体操及びスクワットをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務開始前の腰痛予防体操（変則業務者も業務開始前などにサービスステーションで行う） ・毎日のミーティングの時間にスクワット×5 ・小脳を鍛える目の体操×10 ・8月、2月に腰痛予防ができたか及び小脳を鍛えられたかをアンケートなどで評価する 	

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
<p>○利用者やご家族に安心感を持ってもらえるように、言葉づかいを意識して接する</p>	<p>①（利用者） 利用者やご家族に、居心地よく安心して生活していただける様に意識して言葉を選んで接する</p>	<p>○下記の基本的な内容を再確認し、意識して接する事で気持ち良く生活していただく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 笑顔 ・ 手をさすりながら等のスキンシップ ・ うなづく等の共感 ・ 視線の高さを合わせる ・ すすんで挨拶 <p>○時には丁寧語や方言などを交え、個々に応じて理解していただけるような話し方で接する</p> <p>○ご家族面会時などに状況を伝え、安心して預けられる様な信頼関係を築く</p>	
	<p>②（職員） どうしてこの言葉をつかうのか？ どうしてこの言葉がいけないのか？を考え、意識して取り組むことで、言葉づかいの改善に繋げる</p>	<p>○認知症や障がいを持つ方への苑内研修に参加する</p> <p>○朝礼時、標語を唱和し、スピーチロック予防を意識する</p> <p>○言葉づかいについて場面を想定したり、過去の対応を振り返るなど、検討する機会をもつ</p> <p>○接遇について、職員が交替で毎月の標語を考え、掲示して実践。職員それぞれが考え、設定・評価することで意識することに繋げる</p> <p>○業務や職員間で、良い事（感謝される等）があった時は、全員で共有し、和やかな環境で仕事ができるような雰囲気づくりに配慮していく</p> <p>○計画①②の取り組みについての内容を、月に1度は職員間で話し合い、改善に繋げていく</p> <p>○言葉づかいについて自己評価・他者評価を行う（8月、2月）</p>	

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
① 入居者様自身が、役割を持つ事で筋力を維持する	○入居者様の潜在能力や環境に着目し、できる事を尊重しながら支援していく。 ○定期的に握力測定を行い、握力の推移を把握する。	○入居者様の趣味嗜好や特技を把握し、環境(活動の場)を整え、趣味趣向を一覧にまとめる。 ○握力測定を実施し、測定結果を機能訓練指導員・看介護職と共有する。(8月、2月に実施予定) ○握力測定の結果を個別に居室に掲示し、入居者様の握力低下予防の取り組みに繋げていく。	
② 「心のバリアフリー」を意識して入居者様の支援に取り組む	○職員の認知症・障がいに関する知識向上を含め、入居者様にやさしい施設作りを目指す。	○認知症・障がいに関する正しい知識を習得し、入居者様が安心して過ごせる環境作りに努める。(声掛けの仕方等) ○職員を対象に認知症サポーター養成講座を開き、入居者様・ショート利用者様への対応力の向上に取り組んでいく。 ○入居ご家族様を対象とした認知症サポーター養成講座を開催する。	
③接遇の向上に取り組む	○あいさつなど仕事上でよく遭遇する場面を想定して、接遇の向上に努める。	○接遇に関する研修への参加と苑内研修の実施。 ○日頃の業務の中で、自ら接遇を意識して業務に取り組む。 ①入居者様居室への入退室時の挨拶。 ②入居者様と目線を合わせて会話をする。 ③笑顔を意識して日々の業務を行う。 ※上記①～③について8月、2月に自己評価・他者評価を行う。	

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
① 利用されている方がリラックスして生活を送っていただけのような支援	<ul style="list-style-type: none"> 利用されている方への姿勢と動作のアドバイス。 利用されている方が安全・安心に行動できるような声掛け 利用されている方が安楽な姿勢で過ごしていただく為の知識習得。 寝たきりの利用されている方がリラックスした状態での臥位を保つ 利用されている方の情報の共有。 	<ul style="list-style-type: none"> 訓練以外でも、安楽な姿勢で過ごせるように修正する。 日々意識しながら丁寧な言葉使いと説明を心掛ける 専門知識習得のため外部の勉強会の参加。 利用されている方の希望に添えるように訓練に幅を持たせる。 注意点があれば報告して、共有する (月1度のミーティングや、その都度気付いた時) 	
② 認知症・障がいを持つ方への対応	<ul style="list-style-type: none"> 認知症・障がいを持たれている方の気持ちになり、状態や状況に合った訓練を実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症や障がいを持たれている方に特化した勉強会に参加する。 普段から利用されている方の身になり、良い人間関係を構築できるように心がける。 	
③ フレイル予防の見える化	<ul style="list-style-type: none"> 基本動作と日常生活動作を再評価して、利用者個々に合わせた訓練の実施。 歩行にこだわらず、平行棒歩行や車いす自操も測定実施の視野に入れていく。 他職種との要望に応えた訓練の実施。 利用されている方の情報の共有。 	<ul style="list-style-type: none"> 介護職員の立ち上がり測定のデータの共有 相談員の握力測定のデータの共有 共有したデータを見える化 注意点があれば報告して、共有する (月一度のミーティングや、その都度気付いた事の報告) 	
4. 地域住民の介護力・健康寿命の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 介護者の高齢化が進んでおり、健康寿命の引き延ばす。 介護する必要な体力と技術の向上を図る。 カフェ参加されている方への体操の実施。 体操の内容も身体をほぐす体操から痛みや筋力低下の抑制につながる体操を提案していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防活動や地域のカフェサロンを通じて地域住民の身体能力の維持向上と要介護者への適切な介助方法の講習会の実施。 体操を通じて、利用されている方のやる気を引き出し、日常生活の一部として体操実施につなげる。 カフェ参加時に実施する体力測定で、利用されている方のフレイル度数の見える化。 	

令和2年度年間行事等事業計画書

部署名： 千寿苑

月	事業（行事）	地域交流	ボランティア・見学
4月	花見ドライブ	徳田カフェ	
5月	花嫁のれん展見学 苑内菜園（野菜を育てよう）	小学校運動会見学 北大吞カフェ、徳田カフェ	苑周辺のゴミ拾い
6月	家族旅行	大正琴 野菜収穫の見学（八幡町） 徳田カフェ	
7月	苑夏祭り	北大吞カフェ、徳田カフェ	
8月	収穫野菜でクッキング	徳田カフェ	
9月	のと里海里山ミュージアム見学	民謡踊り 北大吞カフェ、徳田カフェ	一本松公園清掃
10月	敬老会（餅つき）	地区祭り獅子舞見学 徳田まつり参加 徳田カフェ	苑周辺のゴミ拾い
11月	買物と外食	北大吞カフェ、徳田カフェ	朝日小学校通学路清掃活動
12月	クリスマス会	徳田カフェ	
1月	初詣（苑内）	北大吞カフェ、徳田カフェ	雪かき隊
2月	節分	徳田カフェ	
3月	ひな祭り会	北大吞カフェ、徳田カフェ	

デイサービスセンター せんじゅ
デイサービスセンター なでしこ

指 定 通 所 介 護

七尾市介護予防・日常生活総合事業 通所型

令和2年度テーマ：『誰もが安心して暮らせるフレイルの予防』の見える化 部署：デイサービスセンターせんじゅ・なでしこ

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
<p>① フレイルの予防</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 筋力（見える化） ・ 低栄養状態の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的にバーサルインデックスを測定し、ADLの評価を行う。 ・ バーサルインデックス測定で得られた値を用い、個々に足りないリハビリメニューを補い、ADL低下を防ぐ。 ・ 日々のレクリエーションで、筋力トレーニングを増やす ・ 半年に一度、筋力測定を行う。（転倒リスクの低い方） ・ 外出レクリエーションを増やす ・ 嚥下体操をする。 ・ 口腔ケアをする。 ・ 採血データや体重減少・食事摂取量などで、低栄養状態を把握する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バーサルインデックス測定（4月・10月） ・ バーサルインデックスの値を比較し、悪化している方を対象にプログラムの見直しを行い、ADL低下を防ぐ ・ レクリエーションで筋力トレーニングの時間を昨年度より10分間増やす ・ 筋力測定（5m歩行速度）半年に1回行う。（転倒リスクの低い人） ・ 握力測定を年に2回全員行う。 ・ 外出レクリエーションを企画し、活動範囲を広げる。 ・ 食前に嚥下体操・唾液腺のマッサージを行う・食後に口腔ケアを行う ・ 集団での嚥下体操が困難な方には、個別で行う ・ 採血データ確認・体重測定毎月・食事摂取量確認を行い、随時他職種で相談し、対応を検討する。 ・ ケアマネージャーにその都度報告し、ご家族・主治医にも情報提供する 	

令和2年度テーマ：『誰もが安心して暮らせるフレイルの予防』の見える化 部署：デｲバﾞｽﾝﾀｰせんじゅ・なでしこ

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
② 認知症、障害を持つ方への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修に参加・DVD の活用 ・ ひもときシートの活用 ・ 興味・関心チェックシートの活用 ・ 個々の障害と必要な支援を共有する ・ 多職種協働 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修に参加し、伝達講習を行い、知識を深める ・ DVDを購入し、全員が認知症の理解を深め、関わりに生かす ・ ひもときシート発表会を年二回開催(AチームとBチームで計2回、緊急性がある場合はその都度) ・ 個々の障害に関する知識を深め、統一したケアを行い心地よく過ごして頂く ・ 興味・関心チェックシートで得られたストレングスを生かし、生き生きとその方らしく過ごせるように関わる <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係事業所と連携し、最適な支援やポジショニングなどを検討し、自立を支援する。 	
③ 接遇の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接遇の研修に参加・勉強会の実施 ・ 自己評価を行い、意識付けを行う ・ 接遇について、一人一人が意識を高め、注意し合える環境づくりを行う ・ 職員間で働きやすい環境を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 勉強会の実施 ・ 年2回評価を行い意識付けをする・意見交換する ・ 毎月スローガンを掲げ、声を掛け合う ・ 職員間の挨拶・敬語の使用・言葉遣いに気をつける 	
④ 利用者増への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ ショートステイや入院でお休みする方の補充 ・ 臨時利用・利用日追加の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ショートステイや入院でお休みする方の補充ができないか、ケアマネージャーと情報交換 ・ 臨時利用・利用日追加のご希望がないか、情報を共有し、働きかけを行う ・ ご利用されている方へのサービスの向上をはかり、お知り合いを紹介いただけるよう、声掛けを行う ・ 空き情報の報告を、顔を見て他機関にお知らせし、タイムリーな情報をいただく 	

令和2年度年間行事等事業計画書

部署名: デイサービスせんじゅ

月	事業 (行事)	地域交流	ボランティア・見学
4月	お花見ドライブ 桜湯 桜餅作り		
5月	母の日カーネーションプレゼント しょうぶ湯 苺のお菓子作り	元気かいね白馬ご招待	にこにこ一座
6月	あじさい湯 よもぎ団子作り		
7月	笹の葉湯 水ようかん作り		
8月	ひまわり湯 あんみつ作り	グループデイ国分との交流会	
9月	敬老会 敬老マッサージ りんどう湯 おはぎ作り	一本松奉仕作業	
10月	運動会 オリーブ湯 さつま芋のお菓子作り	徳田まつり	
11月	菊花展観覧 さざんか湯 たこ焼き作り	よるまい会若林と交流会	
12月	年忘れ会 ゆず湯 クリスマスケーキ作り		
1月	初詣 松湯 柚子のお菓子作り		
2月	梅湯 チョコレートのお菓子作り		
3月	七尾まだら鑑賞会 菜の花湯		

令和2年度年間行事等事業計画書

部署名： デイサービスなでしこ

月	事業（行事）	地域交流	ボランティア・見学
4月	お花見ドライブ		
5月	カーネーションプレゼント	介護予防グループ {元気かまね} 白馬様との交流会	
6月	保育園児とクッキング	あさひ保育園児との交流会	
7月	昭和三博物館ドライブ	千寿苑夏祭り	
8月	流しそうめん		
9月	百寿の祝い	一本松奉仕作業	
10月	運動会	徳田まつり あさひ保育園児との交流会	
11月	紅葉ドライブ		
12月	忘年会		
1月	初詣		
2月	節分豆まきの集い		
3月	ひな祭りの集い		

介 護 老 人 福 祉 施 設 千 寿 苑
デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー せ ん じ ゅ
デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー な で し こ

栄 養 課

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
<p>① 「フレイルの予防」 ●おいしく楽しく食事する。</p> <p>② 「認知症・障がいを持つ方への対応」 ●利用者様の身になって、個別対応を重視する。</p> <p>③ 「接遇の見直し」 ●思いやる気持ちを持って対応する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「食の楽しみ」や「食べる楽しみ」を引き出すことで食事の全量摂取を継続し、栄養状態の維持に繋げる。 ・ 利用者様やご家族の思いや状態に寄り添い、栄養管理をおこなう。 ・ どんな状況であっても、平常心を保ち、対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者様の思いや状態、栄養課題の解決に沿った食事の提供。 ・ 個人に合った「食の楽しみ」や「食べる楽しみ」を多職種で検討。 ・ 負担のない摂食機能の維持（食形態や姿勢、口腔ケアなど）。 ・ クッキングや栄養講座を活用し、食への関心に繋げる。 ・ 人生観も含めた栄養アセスメントの実施。 ・ 個人の状況に合わせた具体的な食事対応を多職種で検討。 ・ 状況を把握し、相手の気持ちに寄り添う。 ・ その場に応じた、適切な言葉遣いや態度に努める。 	

令和2年度年間行事等事業計画書

部署名：事務所（管理栄養士）

月	事業（行事）	地域交流	ボランティア・見学
4月			
5月	<p>【行事について】 「食の楽しみ」を増やすため、行事食やイベント食を継続提供する。</p> <p>★暦上の行事食は、えんやま健康クリニックの栄養課に依頼し、適宜提供する。 食事内容については、食材の出来高や価格、栄養課の環境において左右されるため、行事計画は立てずに状況をみながら対応していく。</p> <p>★千寿苑や各部署の行事にかかわるイベント食については、イベント係起案の内容に沿い、えんやま健康クリニック栄養課と検討し、対応する。</p>		
6月			
7月			
8月			
9月			
10月	<p>【地域交流について】</p> <p>★依頼があれば、対象者に寄り添いながら実施していきたい。 (食事相談・食事講座・クッキング・震災食講座など)</p> <p>★当苑は緊急時の地域の方受け入れ施設であることから、入居者及び地域受け入れ者分の非常時の食料備蓄品を準備する。 (現時点では、5食分確保済み) また、緊急時の食事対応について多職種間で周知する。</p>		
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

グループホーム やくしの里

指定認知症対応型共同生活介護

指定介護予防指定認知症対応型共同生活介護

令和2年度テーマ：『誰もが安心して暮らせるフレイルの予防』の見える化

目 標	計 画	方 法・取 組
<p>1 身体を動かす ↓ 2 十分な栄養を摂る ↓ 3 役割（仕事）を持つことで生活に張りを持つ ⇒1へ戻る</p> <p>1・2・3が好循環するよう援助を行う。</p>	<p>1：現在の体力の維持と個別で向上を図る</p> <p>2：十分な栄養を摂取することで健康な身体づくり</p> <p>3：施設の中で役割（仕事）を持つことで生活に張りをもつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日昼食前の嚥下体操、3日に1回ゴムバンド体操 ・ 4カ月に1回筋力測定（握力）、歩行速度のチェック ※歩行状態と筋力との比較、関係性について ・ 天気の良い日は散歩や日光浴の付き添い ・ 行事での外出 ・ 買物への同行と付き添い ・ 個別での歩行器を使用した歩行訓練、転倒予防の指導 ・ 旬の食材の提供、やくしの里裏の山菜提供、大泊朝市での季節の果物の購入 ・ 行事食や外出での外で食べる機会の援助 ・ 毎月一回、入居者の意向を伺い食材の購入と特別メニューの提供 ・ 食事量の記録と毎月の体重測定 ・ 毎食後の口腔ケアと随時義歯の確認、安定剤の使用時の歯科受診援助。口腔状態に合わせた食事の提供 ・ 施設内で自分で出来ることをすること、入居者の能力に応じた役割（表にして張り出し毎日変更）で行う。 ・ 公共施設でのイベントや市の祭りの見学、見物 ・ 居住地行事への外出援助（祭事など）

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
<p>職員の仕事も好循環できる体制を作る</p>	<p>1：仕事にやりがいを持てるよう、研修などにより知識を学び入居者支援と他の職員へ還元、入居者の喜びが職員への喜びに循環する体制を作る</p> <p>2：負担の少ない勤務体制と十分な休養、リフレッシュできる 有給休暇の取得で仕事に対する意欲を持つ</p> <p>3：職員間のコミュニケーションを円滑にすることで良好な人間関係の構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 希望する研修への参加（認知症、身体障害について） ・ 入居者の担当制による生活の意向の毎月確認。意向を伺って計画の作成と実行と評価（職員と入居者） ・ グループワークによる施設内研修を行いケアの意思統一 <ul style="list-style-type: none"> ①認知症について ②接遇について（主に言葉遣いについて） ③身体拘束にについて ※3 カ月ごと ④身体障害について ・ 超過勤務や連続勤務の無い勤務表作り ・ 体力、年齢、健康状態に応じた夜勤回数 ・ 3連休以上の休暇取得。こまめな有給休暇の消化により疲労の蓄積を軽減 ・ 家庭環境を配慮した柔軟な勤務の変更 （病院への通院、学校行事への参加、地域行事への参加） ・ 年2回（4月、10月）の個人面談にて意向の確認。 （勤務の意向、仕事量、勤務状況について） ・ 申し送り時、ミーティングでの意見交換 ・ 休憩時間の活用 	

令和2年度年間行事等事業計画書

部署名：やくしの里

月	事業（行事）	地域交流	ボランティア・見学
4月	花見 避難訓練	大泊朝市 大泊町春祭り	誕生会 北国特選会
5月	青柏祭見物	大泊朝市	徳田の民話
6月	菖蒲湯 能登祭り会館見学 ワックスがけ	大泊朝市	誕生会
7月	七夕祭り 水羊羹作り 千寿苑夏祭り見学	大泊朝市 あっとほーむひこもト様交流会 (やくしの里にて)	
8月	花火 流しそうめん	大泊朝市	百寿お祝い 花嫁のれん館見学
9月	お彼岸（おはぎ作り） ワックスがけ	大泊朝市 南大呑地区敬老文化祭見学	誕生会 能登里山里海ミュージアム見学
10月	徳田祭り 避難訓練	大泊朝市 コモトフェスタ	菊花展 千寿苑獅子舞見学
11月	紅葉ドライブ 外食会	大泊朝市	
12月	クリスマス会 ゆず湯 年越しそば おせち作り	大泊朝市 ※入居者は中止	
1月	おせち料理提供 正月遊び 七草粥	大泊朝市 ※入居者は中止	誕生会
2月	節分 恵方巻作り 豆まき 災害時訓練 鍋パーティー	たらのこもち祭り	誕生会
3月	ひな祭り会 ワックスがけ お彼岸（おはぎ作り）	大泊朝市 ※入居者は中止	誕生会 七尾市民音楽祭

小規模多機能型居宅介護施設たかしの里

指定小規模多機能型居宅介護

指定介護予防小規模多機能型居宅介護

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
フレイル（身体的・精神的・社会的衰弱を予防する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 筋力チェックとリハビリ（握力・歩行速度） ・ 低栄養の改善と口腔、嚥下機能のリハビリ ① ご利用者様のADL維持向上や筋力アップが出来るよう運動の機会を増やし成果が見えるようにする。 ② 栄養、身体活動を通じて『生活の質』を守り健康で元気に過ごしていただく。 ・ 地域との関りを増やす ・ 地域行事への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設内での歩行練習を毎日実施 ・ 日々の百歳体操の実施 ・ 食事前の体操、嚥下体操 ・ 年4回筋力測定（握力・5メートル歩行） ・ 旬の具材を取り入れておいしい栄養バランスを考えた家庭料理の提供 ・ 低栄養のご利用者様には栄養食品の提供 ・ 施設で地域の方たちとの交流の機会を作り楽しんでいただく。 ・ 地域の行事やイベントに積極的に見学や参加をする。 ・ 四季のドライブの実施。 	
認知症・障害を持つ方への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症や障害の理解 ・ 個々の状態に寄り添うサービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベントの企画時に地域の障害施設の方を招待するなど交流を図る。 ・ 担当職員が寄り添いその方が本意に過ごしていただける居場所づくりを心がける。 	
接遇の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ より良い人間関係の構築（ご利用者・ご家族・職員） ・ 地域に選ばれる介護サービス・施設の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症、接遇研修の実施や事業所外の研修に積極的に参加する。 ・ 自己評価の取り組み ・ 個人面談の実施（年2回） ・ 研修の推奨 	

令和2年度年間行事等事業計画書

部

署名：たかしなの里

月	事業（行事）	地域交流	ボランティア・見学
4月	お花見ドライブ		カフェたかしな
5月	青柏祭見学 新緑ドライブ 避難訓練（夜間）	朝日小学校運動会見学	カフェたかしな
6月	蕨取り 菖蒲湯	高階地区敬老会参加 高階地区体育レクリエーション大会	カフェたかしな
7月	七夕まつり シェイクアウト	安浄寺お参り	カフェたかしな
8月	家族交流会（意見交換会）	高階まつり見学	カフェたかしな
9月	足湯ドライブ おはぎ作り		カフェたかしな
10月	避難訓練（日中）	池崎町秋の大祭 徳田まつり見学	カフェたかしな
11月	紅葉ドライブ		カフェたかしな
12月	ゆず湯 クリスマス会 餅つき		カフェたかしな
1月	正月遊び 法話（安浄寺住職）		カフェたかしな
2月	節分		カフェたかしな
3月			カフェたかしな

※ 毎月第2木曜日「カフェたかしな」送迎協力（内容、状況によってはご利用者様参加）